

LUCKY

操作マニュアル

2023年11月

目次

1	はじめに	- 1 -
2	動作環境	- 1 -
3	機能説明	- 2 -
3.1	拡大／縮小	- 2 -
3.2	移動	- 2 -
3.3	レイヤーの表示／非表示	- 3 -
3.4	PDF 印刷	- 4 -
3.5	画像保存	- 6 -
3.6	LUCKY 活用テンプレート	- 8 -
3.7	凡例	- 9 -
3.8	背景図の切替	- 10 -
3.9	データ追加	- 11 -
3.10	スワイプ	- 13 -
3.11	e 描画	- 14 -
3.11.1	図形の作図	- 14 -
3.11.2	図形の編集、削除、ズーム	- 18 -
3.11.3	図形のエクスポート	- 20 -
3.11.4	図形のインポート	- 21 -
3.12	ポイント情報検索	- 22 -
3.13	位置情報、地名検索	- 23 -
3.14	計測	- 24 -
3.15	全体表示	- 25 -
4	その他	- 26 -
4.1	レイヤーとは	- 26 -
4.2	レイヤーの内容	- 26 -

1 はじめに

土地利用調整総合支援ネットワークシステム（LUCKY : Land Use Control bacK-up sYstem）とは、国土利用計画法 9 条に基づき、都道府県が策定する土地利用基本計画図を電子化し、インターネット上で情報発信等を行うシステムです。

2 動作環境

次に示す最新バージョンのブラウザを使用できます。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Firefox

3 機能説明

3.1 拡大／縮小

マウスホイールのスクロールすることで、地図を拡大／縮小できます。



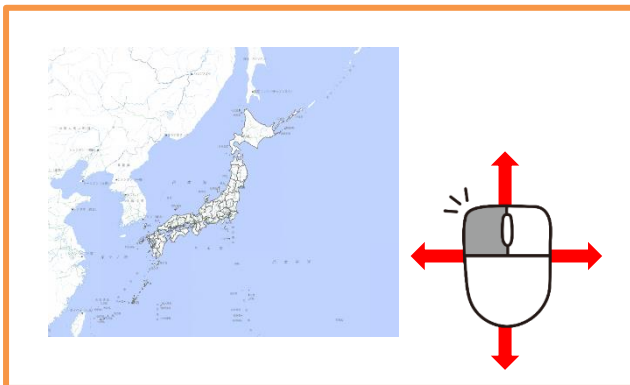
地図左上の+ボタン、-ボタンでも同じように拡大／縮小できます。



その他、ダブルクリックや、[Shift]+ドラッグで矩形を指定することで拡大することができます。

3.2 移動

マップ上で、マウスの左ボタンでドラッグすることで、任意の方向に移動することができます。



3.3 レイヤーの表示／非表示

画面左側の「レイヤー」タブをクリックし、各チェックボックスをクリックすることで、レイヤーの表示／非表示を切替えることができます。



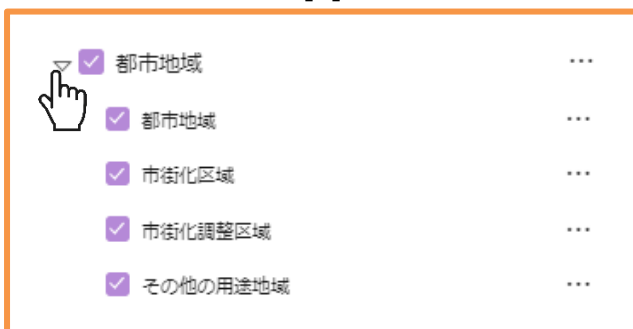
ヒント

レイヤーについては、「4.1 レイヤーとは」をご参照ください。

レイヤーは、階層構造（ツリー構造）となっていて、いくつかのレイヤーをまとめています。

例えば、「都市地域」レイヤーの配下には、「都市地域」、「市街化区域」、「市街化調整区域」、「その他の用途地域」に分かれているように、国土法5地域のレイヤーと個別規制法の地域・区域のレイヤーが配置されています。

チェックボックスの左側にある[▷]をクリックすると、配下のレイヤーが表示されます。



ヒント

本システムに登録されているレイヤーの種類については、「4.2 レイヤーの内容」をご参照ください。

3.4 PDF 印刷

表示中の地図面を、PDF として出力することができます。

画面左の「PDF 出力」タブをクリックすると、PDF 印刷設定ボックスが表示されます。

① タイトル

印刷物、保存した画像に設定するタイトルを入力します。初期状態は「土地利用基本計画図」です。

② レイアウト

A4 横、A4 縦、A3 横、A3 縦の 4 から選択可能です。

初期状態は A4 横が選択されています。

③ 縮尺

印刷物、画像の縮尺を任意の値で入力できます。設定すると、出力範囲枠も連動して変化します。

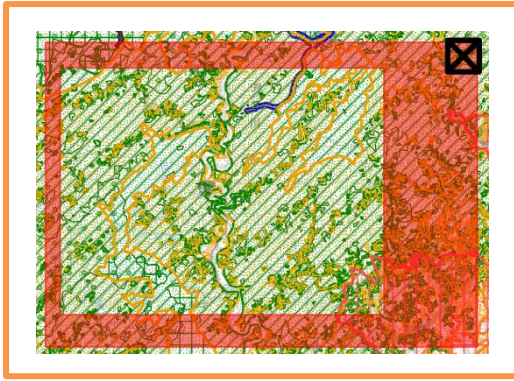
横のボタンをクリックすると、現在の縮尺を印刷範囲に適用します。

④ 縮尺スライダー

印刷物、画像の縮尺をスライダーで調整できます。設定すると、出力範囲枠も連動して変化します。

⑤ 出力範囲のプレビュー

地図上に、印刷物の出力範囲が表示されます。マップを移動させて出力範囲枠に印刷したい場所を合せます。



⑥ 印刷

ここまでの設定内容で、PDF 出力を実行します。



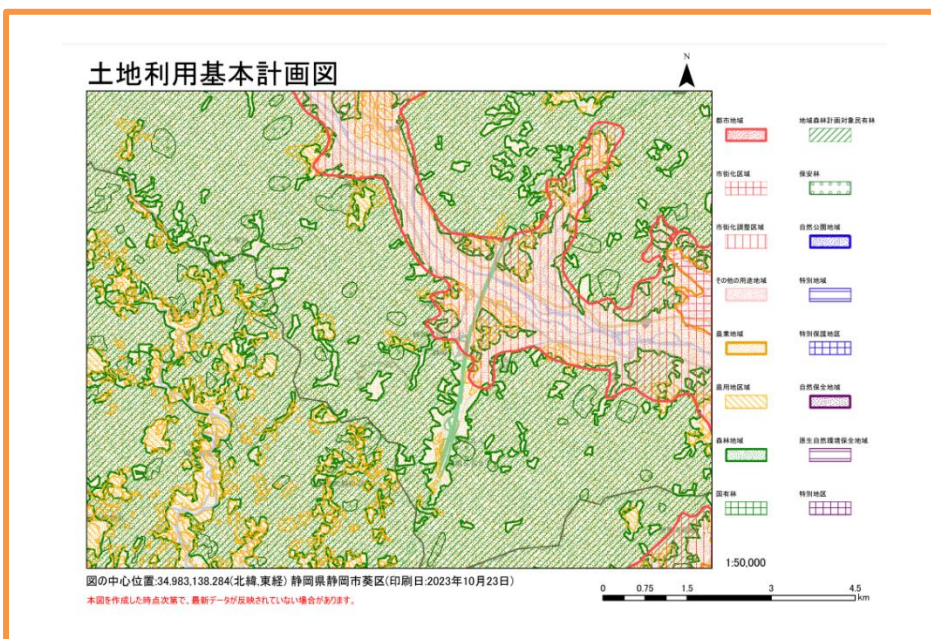
⑦ 出力結果

印刷物の一覧が表示されます。タイトルをクリックすることで、印刷物が別タブで開きます。



出力が完了したものは、タイトル横に「目」マークが表示されます。
出力中のものは、タイトル横に読込中マーク「○」が表示されます。

出力後のイメージは以下の通りです。（A4 横の場合）



3.5 画像保存

表示中の地図面を、画像として出力することができます。

画面左の「画像出力」タブをクリックすると、画像出力設定ボックスが表示されます。

幅 高さ

① 800 600

縮尺

② 4800000  equatorial(1/6,023,891)

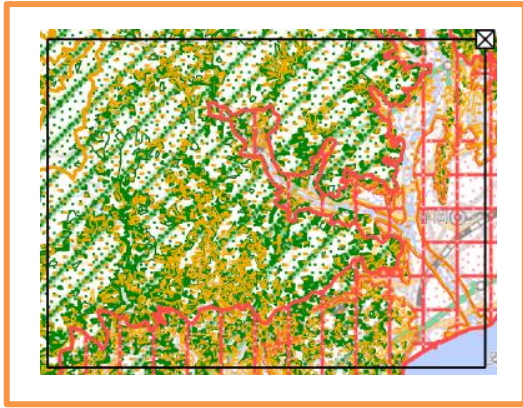
③  1,000,000 16,808,452

④ 出力範囲のプレビュー

⑤  画像出力

⑥ 出力済みファイルがここに表示されます。

- ① 幅／高さ
出力する画像の幅と高さのピクセルサイズを指定します。初期設定は幅 800px、高さ 600px です。
- ② 縮尺
印刷物、画像の縮尺を任意の値で入力できます。設定すると、出力範囲枠も連動して変化します。
- ③ 縮尺スライダー
印刷物、画像の縮尺をスライダーで調整できます。設定すると、出力範囲枠も連動して変化します。
- ④ 出力範囲のプレビュー
地図上に、印刷物の出力範囲が表示されます。マップを移動させて出力範囲枠に印刷したい場所を合せます。



⑤ 画像保存

ここまでの設定内容で、TIFF ファイル出力を実行します。



⑥ 出力結果

印刷物の一覧が表示されます。タイトルをクリックすることで、印刷物が開くので、ダウンロードが可能です。

印刷テンプレート	出力結果
<input checked="" type="checkbox"/> 土地利用基本計画図	×
<input checked="" type="checkbox"/> 土地利用基本計画図(1)	×
<input type="checkbox"/> 土地利用基本計画図(2)	×

出力が完了したものは、タイトル横に「目」マークが表示されます。

出力中のものは、タイトル横に読込中マーク「○」が表示されます。

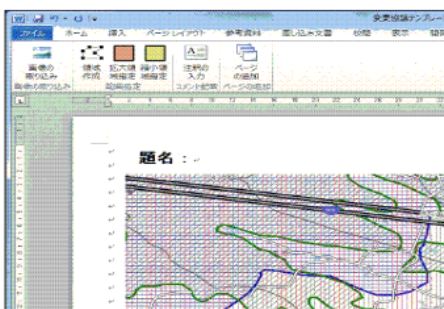
3.6 LUCKY 活用テンプレート

画面右上の「テンプレート」ボタンをクリックすると、「LUCKY 活用テンプレート ダウンロードページ」に移動します。



LUCKY活用テンプレートについて

このページでは画像保存で取り込んだ地図を活用できるテンプレートをダウンロードできます。



[ダウンロード \(Word 形式:約100KB\)](#)

テンプレートver1.1
動作環境: Microsoft Word 2007/2010

[ダウンロード \(PowerPoint 形式:約150KB\)](#)

テンプレートver1.1
動作環境: Microsoft PowerPoint 2007/2010

[LUCKY活用テンプレート操作マニュアル
ダウンロード \(PDF 形式:約1.8MB\)](#)

注意事項 (利用するには、必ず始めに本注意事項を十分にお読み下さい。)

※LUCKYで掲載されるデータが、必ずしも法令に基づく各地域・区域等と一致しているものではありません。

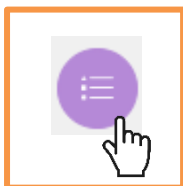
※テンプレート使用の際はMicrosoft Word/PowerPointのマクロを有効にしてください。

ダウンロードできるファイルは以下の通りです。

- Word 形式 (約 100KB)
- PowerPoint 形式 (約 150KB)
- LUCKY 活用テンプレートの操作マニュアル PDF (約 1.8MB)

3.7 凡例

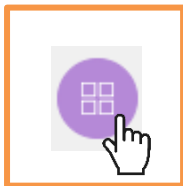
画面右の「凡例」ボタンをクリックすると、地図の凡例が表示されます。



凡例		
都市地域	都市地域	
	市街化区域	
	市街化調整区域	
	その他の用途地域	
農業地域	農業地域	
	農用地区域	
森林地域	森林地域	
	国有林	

3.8 背景図の切替

画面右の「ベースマップ」ボタンをクリックすると、地図の背景図を選択することができます。

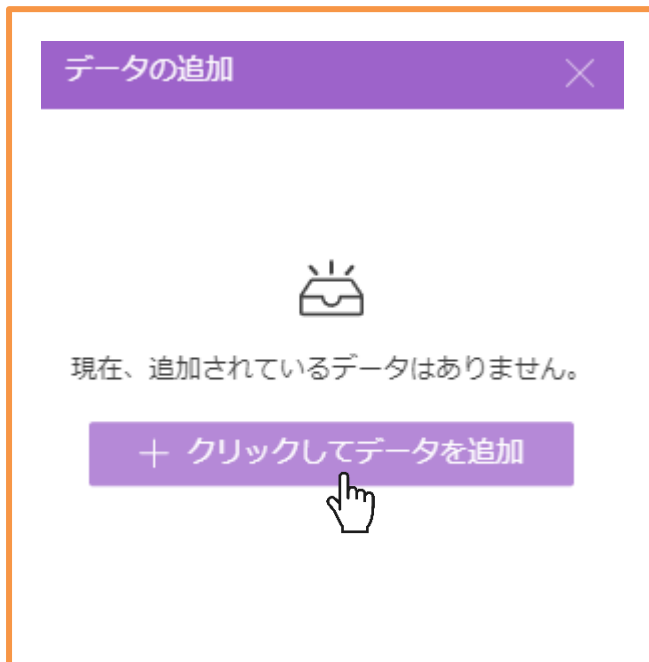


3.9 データ追加

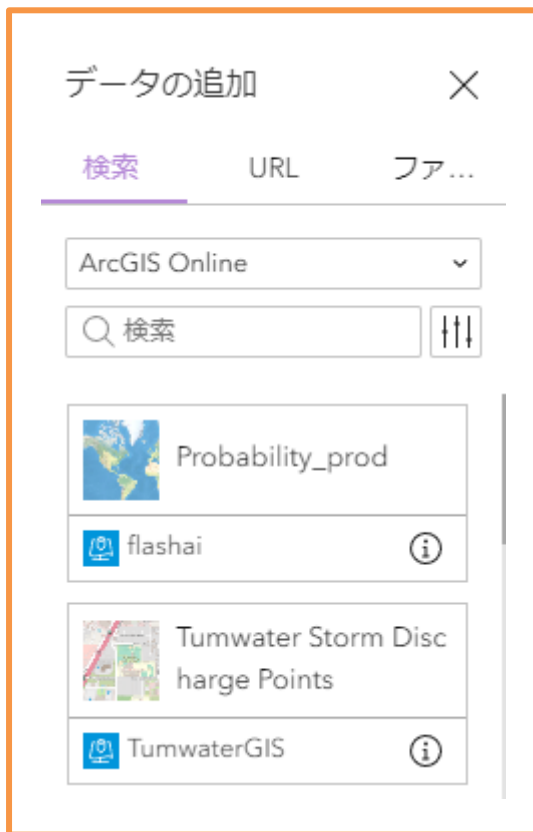
画面右の「データの追加」ボタンをクリックすると、地図にデータ追加し、重ねて見ることができます。



「クリックしてデータを追加」をクリックすると、追加するデータを選択できます。



「データの追加」ウィンドウでは、地図に追加するデータを選択できます。



ヒント

追加できるデータの種類は以下の通りです

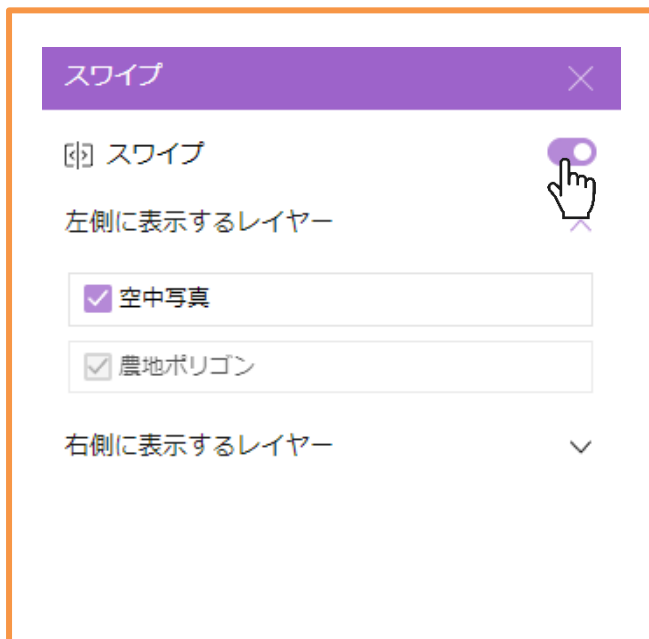
- ArcGIS Online で共有されているデータ（Living Atlas を含む）
- Web サービスの URL
検索と URL の両方で次の形式でデータを追加できます。
フィーチャ サービス、マップ サービス、ベクター タイル サービス、イメージ サービス、シーン サービス、KML、WFS、WMS、WMTS、GeoJSON、CSV
- シェープファイル、CSV、KML、GeoJSON 形式のファイル
アップロードされる CSV ファイルは最大 1,000 レコードに制限され、サポートされている他のすべてのファイル タイプは 4,000 レコードに制限されます。最大アップロード サイズは、シェープファイルの場合は 2 MB、その他すべてのファイル タイプの場合は 10 MB です。

3.10 スワイプ

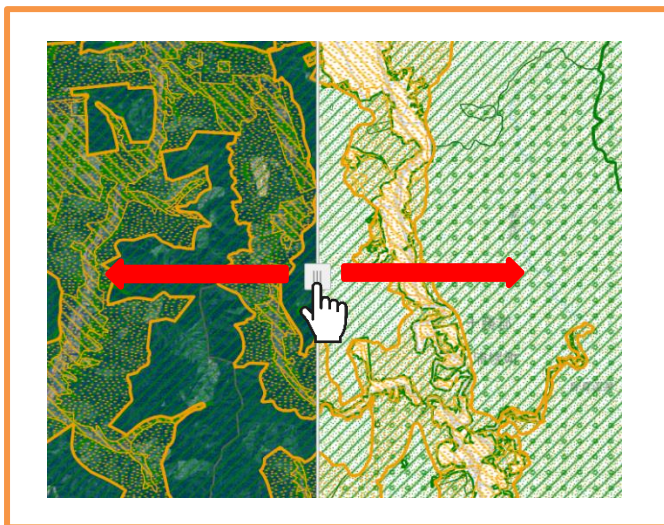
画面右の「スワイプ」ボタンをクリックすると、画面が左右に分割され、左右で空中写真と淡色地図を比較しながら見ることが可能です。



スイッチを ON にすると、スワイプモードが有効になります。



画面を左右に区切るスワイプバーを左右にドラッグすることで、境界を動かしながら見ることができます。



3.11 e 描画

画面右の「e 描画」ボタンをクリックすると、地図上に線や図形を描くことができます。



3.11.1 図形の作図

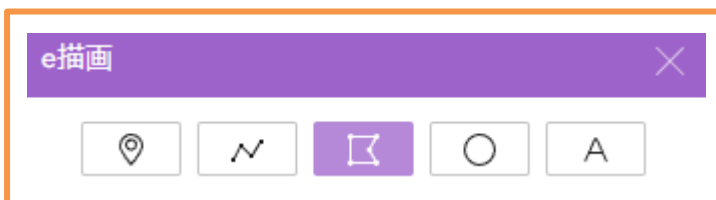
上部の 5 つのボタンから、作図したい種類のボタンをクリックします。

タイプは左からポイント、ライン、ポリゴン、円、テキストです。

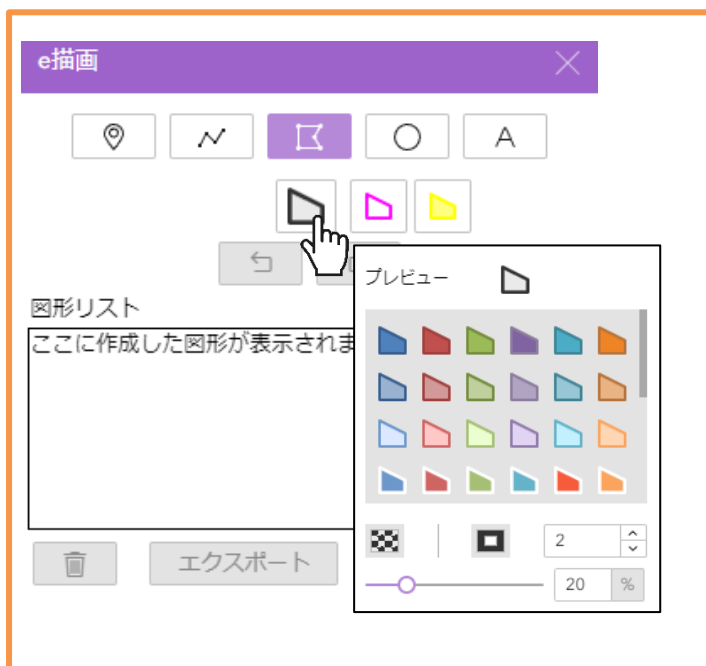




- ① ポイント
任意の 1 地点を示す点です。
- ② ライン
任意の 2 点以上からなる線です。
- ③ ポリゴン
任意の 3 点以上からなる多角形です。
- ④ 円
円形の図形です。
- ⑤ テキスト
任意のテキストを入力可能なテキストボックスです。

選択中のボタンには色が付きます。(例:ポリゴンを選択中)



編集ボタンを押下して色の指定を行います。




図形の色や透過度を編集する場合は、色と透過度編集ボタン  をクリックします。
アウトラインの色や太さを編集する場合は、アウトライン編集ボタン  をクリックします。

ヒント

変更協議資料を作成する際は、以下のスタイルを使用します。

- 拡大の場合

 をクリック。(下記の色設定がされています。)

色：白 (255/255/255)


透過表示：透明 (100%)

アウトライン色：桃 (255/0/255)

アウトライン幅：3

HEX： 白#ffffff 桃#ff00ff

- 縮小の場合

 をクリック。(下記の色設定がされています。)

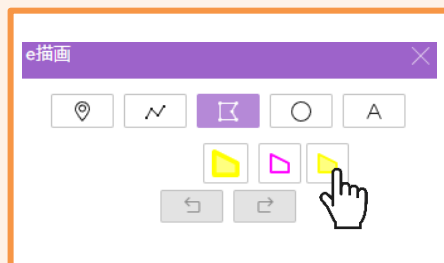
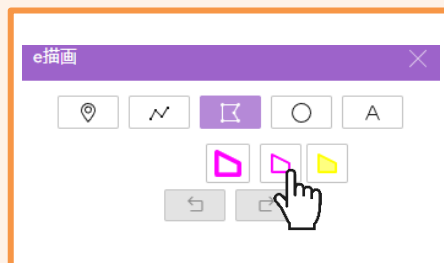
色：黄 (255/255/0)

透過表示：透明 (50%)

アウトライン色：黄 (255/255/0)

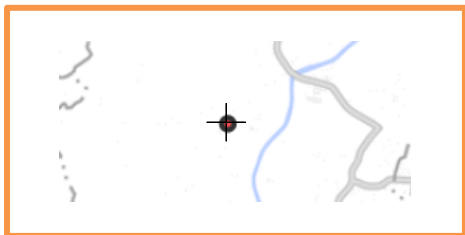
アウトライン幅：3

HEX： 黄#ffff00

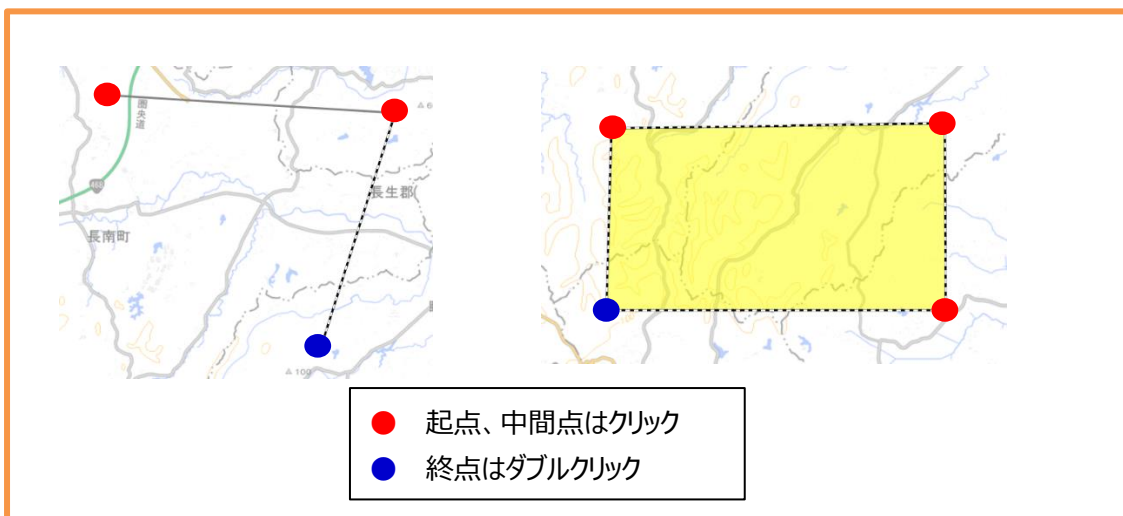


作図したい領域にマウスカーソルを合わせ、作図を行います。

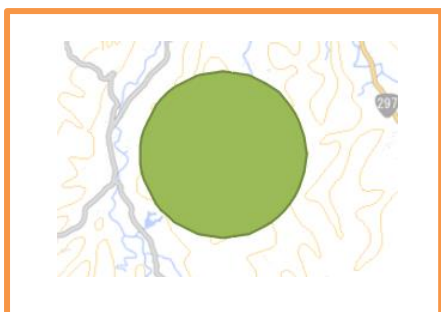
ポイント、テキストは、地図上の地点をクリックします。



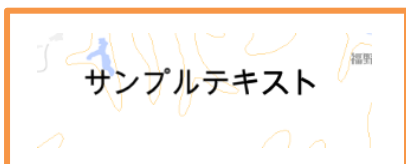
ライン、ポリゴンの場合は、起点・中間点で左クリック、終点でダブルクリックをして作成します。



円は、地点クリックで位置を、そのままドラッグすることで、大きさを調整できます。



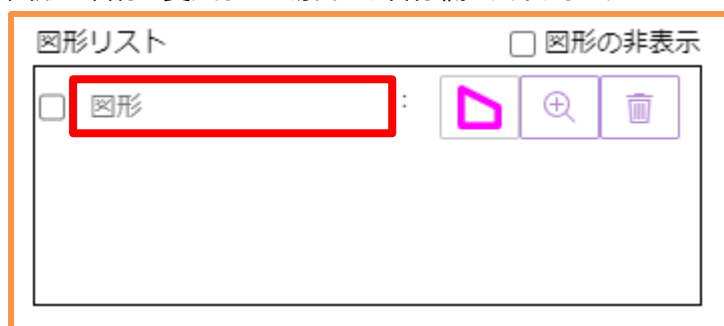
テキストは、クリックした地点にテキストボックスを表示します。



作図が終了したら図形リストに追加されます。



図形の名称を変更したい場合は、名称欄をクリックします。



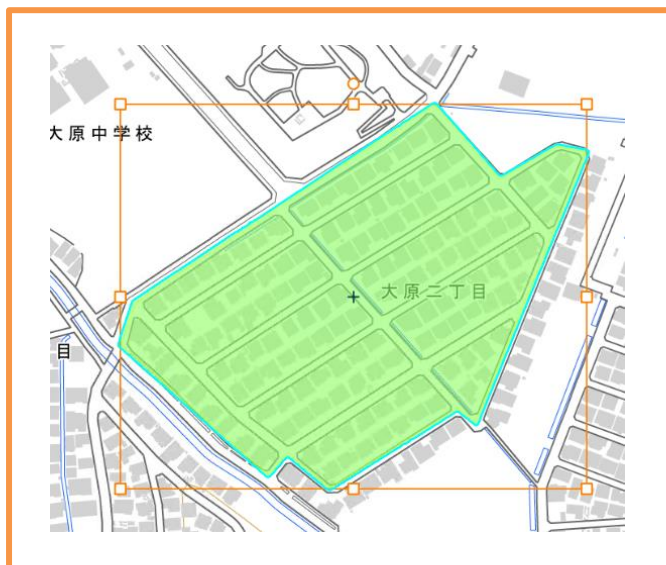
デフォルトは「図形」です。

3.11.2 図形の編集、削除、ズーム


図形の編集を行う場合は、図形リストから該当する編集ボタンをクリックします。



マップ上で図形が選択状態となります。



この状態では、領域の修正や色の変更が可能です。


色の編集を行う場合は、この状態で編集ボタン  をクリックします。

領域の修正を行う場合は、アウトライン上の点を移動、追加、削除します。

図形を削除する場合は、図形リストから該当する図形のゴミ箱ボタンをクリックします。



ヒント

一度ブラウザを閉じてしまうと、編集中の図形や、リスト上にある図形は削除されます。
ブラウザを閉じる前に、作図した図形はエクスポートすることをお勧めします。
全ての図形を削除したい場合は図形リスト外のゴミ箱ボタン  をクリックします。

図形にズームをする場合は、図形リストから該当する図形の虫眼鏡ボタンをクリックします。



3.11.3 図形のエクスポート

e 描画で作成した図形データは、JSON 形式ファイルで出力可能です。

図形リストから出力する図形の名前を「〇〇市××地域」のように入力します。



図形リストから、出力する図形にチェックを入れ、エクスポートボタンをクリックします。



ダウンロードフォルダ内に「my_Drawing_ExB.geojson」がダウンロードされます。

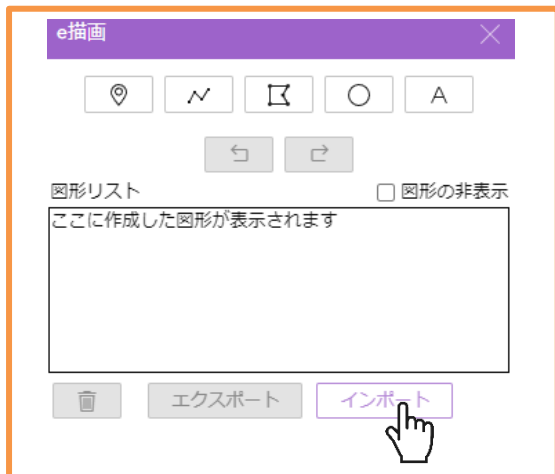
ヒント

出力した GeoJSON ファイルは、そのまま LUCKY の修正データとして活用できます
その場合は、ファイル名を「〇〇市××地域.geojson」と変更します。

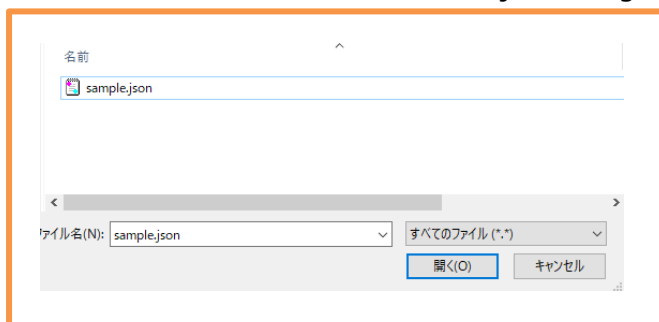
3.11.4 図形のインポート

GeoJSON 形式ファイルから図形を取り込み、地図上に表示させることが可能です。

インポートボタンをクリックします。



ファイルダイアログが表示されたら、拡張子が「.json」か「.geojson」ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



図形が地図上にインポートされます。

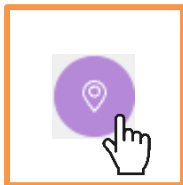


ヒント

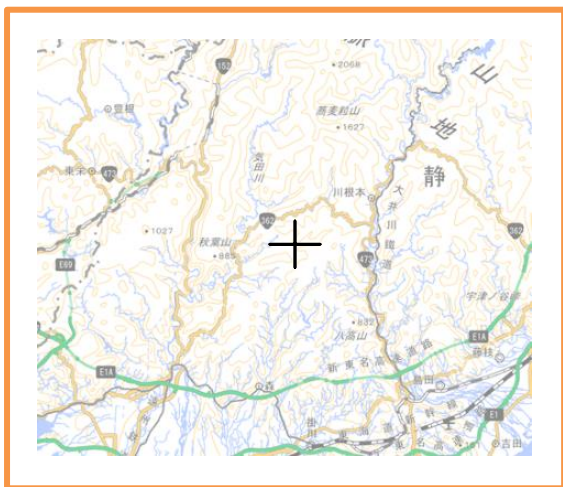
サポートされるファイルは GeoJSON 形式です。それ以外のファイルはエラーが表示されます。
旧 LUCKY で出力した JSON ファイルはインポートできませんので、お手数ですが再度作成してください。

3.12 ポイント情報検索

画面右の「ポイント情報検索」ボタンをクリックすると、ポイント情報検索モードとなり、マウスカーソルが「+」に変わります。





地図上のポイントをクリックすることで、その地点の経緯度や都道府県名、市区町村名、五地域区分などを表示します。





ポイント情報検索 ×

137.978 35.009
静岡県 浜松市 天竜区

 農業地域

 森林地域

 地域森林計画対象民有林

 保安林

3.13 位置情報、地名検索

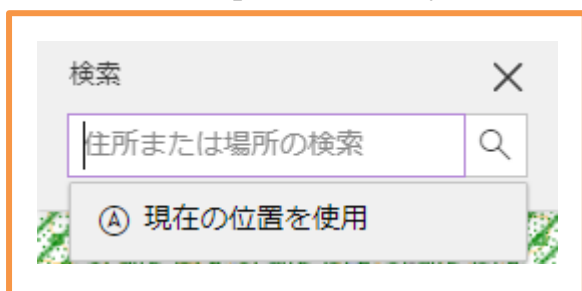
画面右上の「計測」ボタンをクリックすると、住所や地名、経緯度などから場所の検索が可能です。



住所や地名、経緯度を入力して、検索ボタンをクリックします。



「現在の位置を使用」をクリックすると、端末の位置情報を利用して、現在地にフォーカスします。



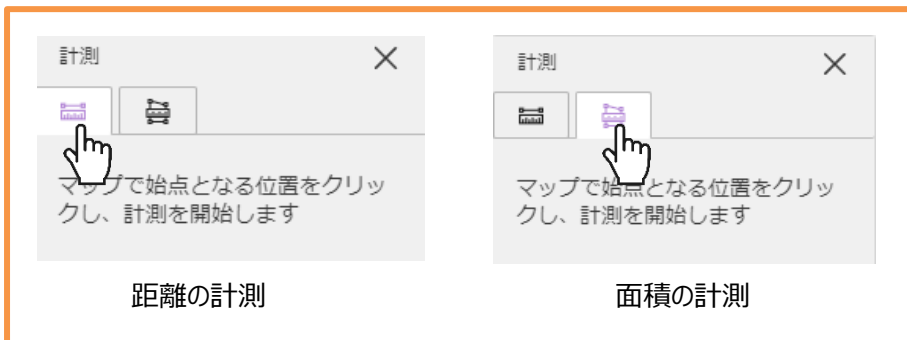
※端末の位置情報の利用設定が許可されている必要があります。

3.14 計測

画面右上の「計測」ボタンをクリックすると、直線距離と面積の計測が可能です。



左側のタブで直線距離の計測、右側のタブで面積の計測が可能です。



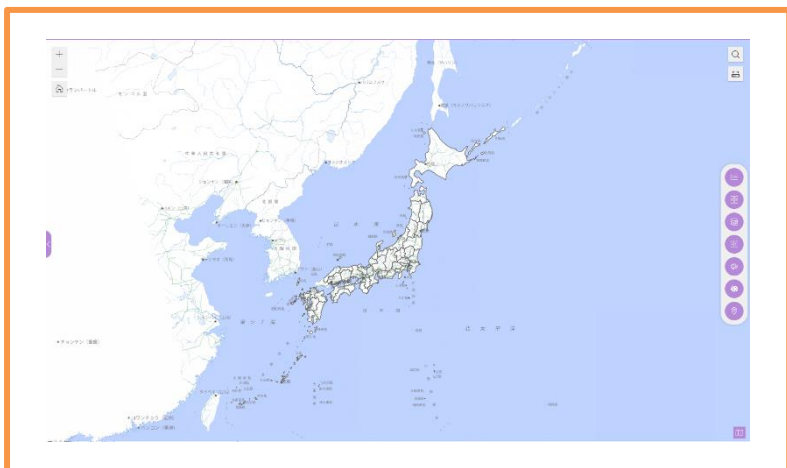
2つ以上の任意のポイントをクリックして、地図上に図形を描画します。

終点でダブルクリックすることで描画が終了し、計測結果が表示されます。



3.15 全体表示

画面右上の「デフォルトマップビュー」ボタンをクリックすると、地図が初期表示範囲に戻ります。



4 その他

4.1 レイヤーとは

レイヤーとは GIS で地物（行政区、都市地域、農業地域等々）をマップ上で管理・表現するために主題毎に分類した「層」を指します。レイヤーは、別々の「層」となっているため、ある特定のレイヤー（主題）に着目することができたり、複数のレイヤー（主題）を組合わせて分析する事により、新しい情報を生み出す事ができます。

マップは、一見すると 1 枚の絵のように見えますが、複数のレイヤー（主題）に分けられており、マップ上に層状に重ねられています。

4.2 レイヤーの内容

No	種別	グループレイヤー	レイヤー	出典	
1	主題	土地利用 基本計画図	都市地域	都市地域	各都道府県
2				市街化区域	各都道府県
3				市街化調整区域	各都道府県
4				その他の用途地域	各都道府県
5			農業地域	農業地域	各都道府県
6				農用地区域	各都道府県
7			森林地域	森林地域	各都道府県
8				国有林	各都道府県
9				地域森林計画対象民有林	各都道府県
10				保安林	各都道府県
11			自然公園地域	自然公園地域	各都道府県
12				特別地域	各都道府県
13				特別保護地区	各都道府県
14			自然保全地域	自然保全地域	各都道府県
15				原生自然環境保全地域	各都道府県
16				特別地区	各都道府県
17	背景	行政区	都道府県界	国土数値情報（H30 行政区） （※1）	
18			市区町村界	国土数値情報（H30 行政区） （※1）	
19			町丁目界	平成 27 年国勢調査町丁・字等別 境界データ（※2）	
20		地理院タイル	淡色地図	国土地理院	
21			標準地図	国土地理院	
22			空中写真	国土地理院	
23	その他	-	農地ポリゴン	筆ポリゴンデータ（農林水産省） （※3）	

※1 平成 30 年 1 月 1 日現在

※2 平成 27 年 10 月 1 日現在

※3 2020 年度公開データ